

講義のオープン化は、大学に 何をもたらすか？

重田勝介

東京大学教育企画室・大学総合教育研究センター
アカデミック・リンク・セミナー 第4回
「講義配信の極意」

重田勝介(しげた かつすけ)

- 経歴
 - 大学教育の情報化・オープン化事業を担当
 - UCバークレー客員研究員(2009)
- 専門
 - 教育工学(教育現場における方法改善)
 - 若手教員のキャリア開発・メンタルケアの実践研究
- 書籍
 - 「デジタル教材の教育学」(東京大学出版会・共著)
 - 「オープンエデュケーション(仮)」(東京電機大学出版会)

要旨

- 東京大学が取り組む「講義のオープン化」
 - 東京大学OCW・東大TV・iTunes U
 - 講義のオープン化がもたらす「知の公共性」
- 「講義配信の極意!?」...Inside Lecture Capture
 - 講義コンテンツは、どう作られるか？
 - 組織体制・制作フロー
- 「教育のオープン化」は何をもたらすか？
 - オープンエデュケーションで変わる「教えと学び」
 - アカデミック・リンクの可能性

東京大学が取り組む「講義のオープン化」

TREEプロジェクト

- ・ 東京大学教育企画室におけるプロジェクト
- ・ Todai Redesigning Educational Environment
- ・ 2005年7月スタート
- ・ 全学的な教育環境リデザインの取り組み



全学推進体制

総長 濱田純一

教育運営会議

理事・副学長(教育) 佐藤慎一

立案・実施

学務課

教育企画会議

大学総合教育研究センター
TREEオフィス

企画 決定



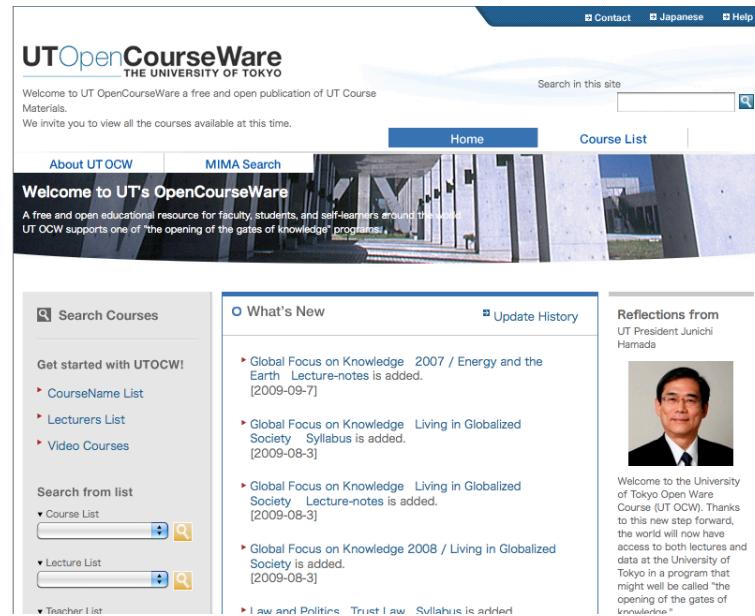
プロジェクト・コーディネータ

各学部、各研究科、教育部、研究所、センター...etc

各学部、研究科、教育部のニーズにしたがって推進

UT OpenCourseWare <http://ocw.u-tokyo.ac.jp/>

- 正規授業を公開 日本語と英語(一部)
 - 学生、研究者、学外一般向け
 - 講義の一部にビデオを含む
- 公開数
 - 公開講義数: 累計100講義
 - 参加講師数: 172名
- アクセス
 - 月間150万ヒット
 - 月間5万人の訪問者



The screenshot shows the homepage of UT OpenCourseWare. At the top, there's a navigation bar with links for Contact, Japanese, and Help. Below the header, there's a search bar labeled "Search in this site". The main content area features a large banner image of a modern building. To the left, there's a sidebar with a "Search Courses" section containing dropdown menus for Course List, Lecture List, and Teacher List. The main content area has a "Welcome to UT's OpenCourseWare" heading and a brief introduction. On the right side, there's a "What's New" section listing recent additions to the course materials, such as "Global Focus on Knowledge 2007 / Energy and the Earth Lecture-notes" and "Global Focus on Knowledge Living in Globalized Society Syllabus". There's also a "Reflections from UT President Junichi Hamada" section featuring a portrait of the president.

東大TV <http://todai.tv/>

- 非正規講義(イベント等)を公開
 - 一般向け
 - 全ての講義にビデオ
- 公開数
 - 公開講義数: 101講義
 - 参加講師数: 117名
- アクセス
 - 月間300万ヒット
 - 月間5万人の訪問者



The screenshot shows a video player for a lecture titled '東京大学現代GP シンポジウム 2009' (Tokyo University Modern GP Symposium 2009). The video frame displays a man speaking. Below the video, there is text about the report '東京大学における学習環境デザイン' (Learning Environment Design at the University of Tokyo), the lecturer '山内 祐平 先生' (Yoshihisa Yamane), and the date '2009年02月28日' (February 28, 2009). To the right of the video player, there is a sidebar with Japanese text and a small thumbnail image.

お知らせ

- 2009/12/25 公開講座「特異」 横本毅彦先生の「科学者を魅了し悩ませた特異現象」を公開しました！
- 2009/11/17 公開講座「特異」 東大正勝先生の「医薬品の三次元構造—特異的生物活性—」を公開しました！
- 2009/10/16 公開講座「特異」 濱田純一先生の「開講の挨拶」を公開しました！

TODAI.TVとは

TODAI.TVは、東京大学で実施されている公開講座、各種のイベントの講演などを視聴することができるサイトです。東京大学では、毎日新しい知が生まれ、また、世界中の知が行き交っています。東京大学はリーディングユニバーシティとして、学びたいと思うすべての方々を応援いたします。ご自由にお役立てください。

なお、東京大学の正式授業のネット配信は、UT Open CourseWare（東大オープンコースウェア）で行っております。

総長からのご挨拶

大学の競争力のひとつに、問題意識を抱くすべての人々にいかに魅力ある教育環境を提供できるのか、という視点があります。TODAI.TVは、そうした人々に、東京大学で生まれる「知の最先端」を提供すること目的に生まれました。

東大ボッドキャスト

東大ボッドキャストは、東京大学の講義や公開講座の映像、音声を公開する場です。東京大学が誇る「世界の観察」を積極的に発信していきたいと考えています。是非多くの方に視聴していただきたいと思います。

総長からのご挨拶

大学の競争力のひとつに、問題意識を抱くすべての人々にいかに魅力ある教育環境を提供できるのか、という視点があります。TODAI.TVは、そうした人々に、東京大学で生まれる「知の最先端」を提供すること目的に生まれました。

東京大学 iTunes U



東京大学 iTunes U は、東京大学で日々開講される講義または一般向けの、優れた講義の数々をビデオで公開しています。東京大学は、このような取り組みを通じて、社会の創造と教養、社会との連携を通して「知の公共性」を育んで、時代と共に正面から取り組み、創造的な活動を実現していく人々を育んでいきたいと考えています。なお、これら講義は不学エフェクサイト「UTOpenCourseWare」(<http://ocw.u-tokyo.ac.jp/>)、「東大TV」(<http://todai.tv>)においても公開しています。

おすすめコンテンツ 1-6 / 11 全て見る >

マイケル・サンデル 教授 東京大学 無料講聴

駒場祭 2010

東京大学 駒場祭... 東京大学 無料講聴

先端物理学国際講義 大森博司 教授 東京大学 無料講聴

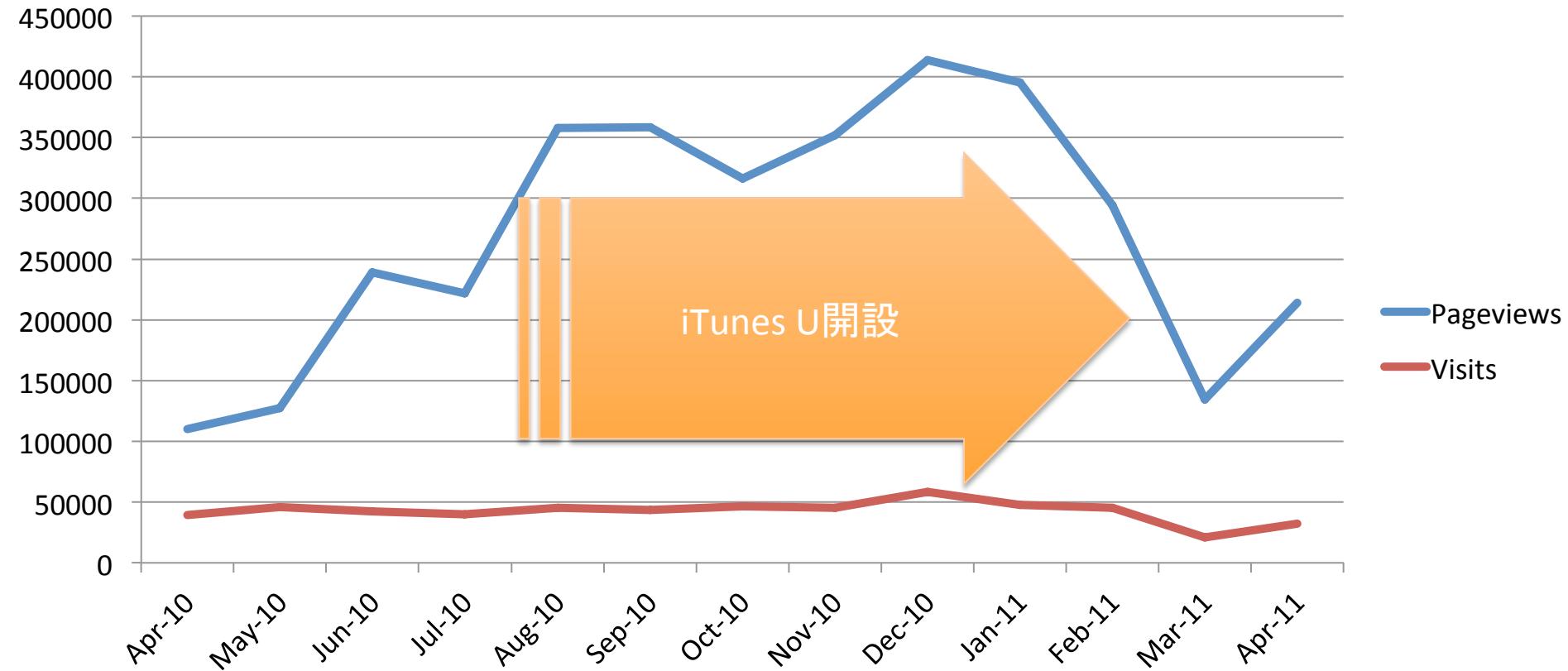
ナビリンク

友達に教える リンクをコピー Facebookで共有 Twitterで共有

カテゴリ

- UT OCW、東大テレビのビデオ講義を公開

iTunes U参加によるOCWアクセス増



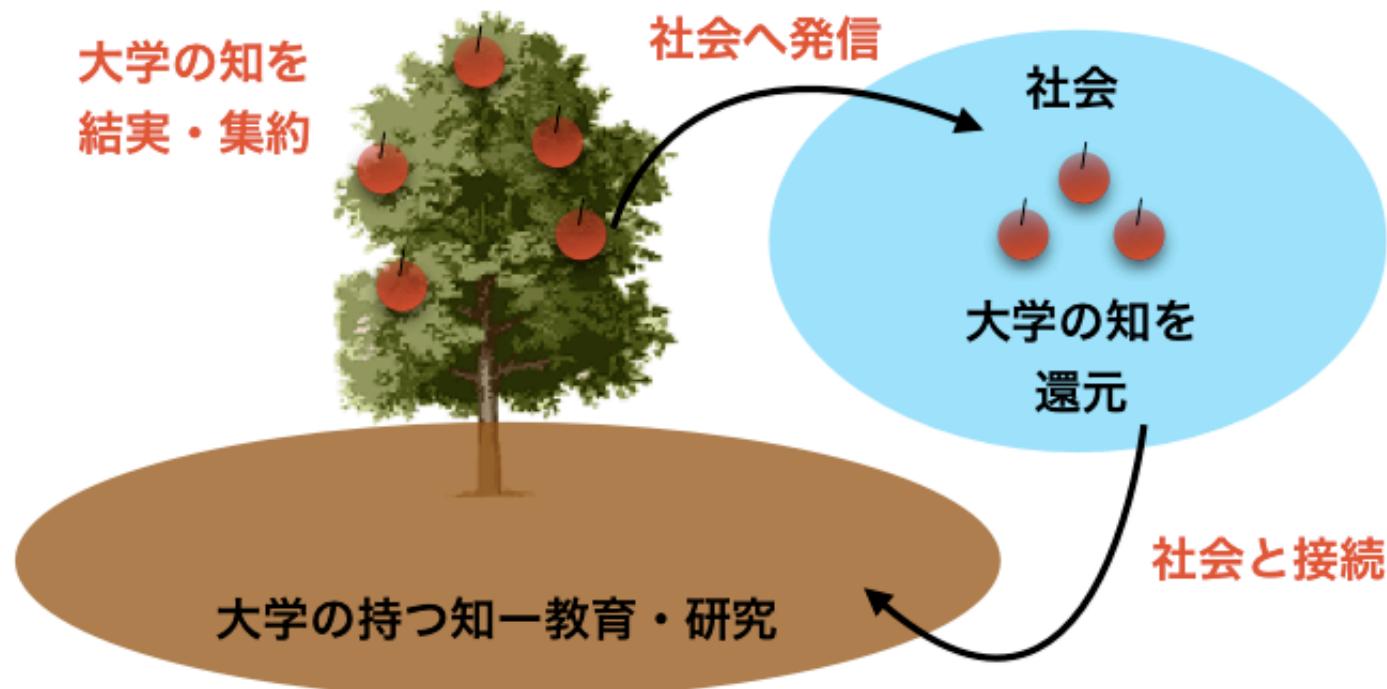
ICTを活用した教育機会の オープン化: 東大ナビ <http://utnav.jp/>

- 学内の教育イベント情報を配信
 - 隔週メールマガジン
 - QRコードで登録
 - 学内のイベント情報を集約
- 学生をターゲットに携帯電話を活用
 - 携帯サイト
 - メールマガジンに任意登録
 - メールマガジン会員にクーポン配布
- 7500名超の登録者
 - 学部生の半数が登録



「講義のオープン化」がもたらす 「知の公共性」

- ・学内外を接続する「知のサイクル」
- ・大学が社会の中で担う持続的な役割へ

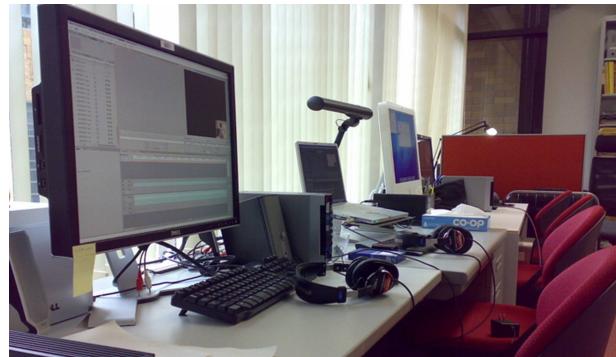


「講義配信の極意!?」

-Inside Lecture Capture-

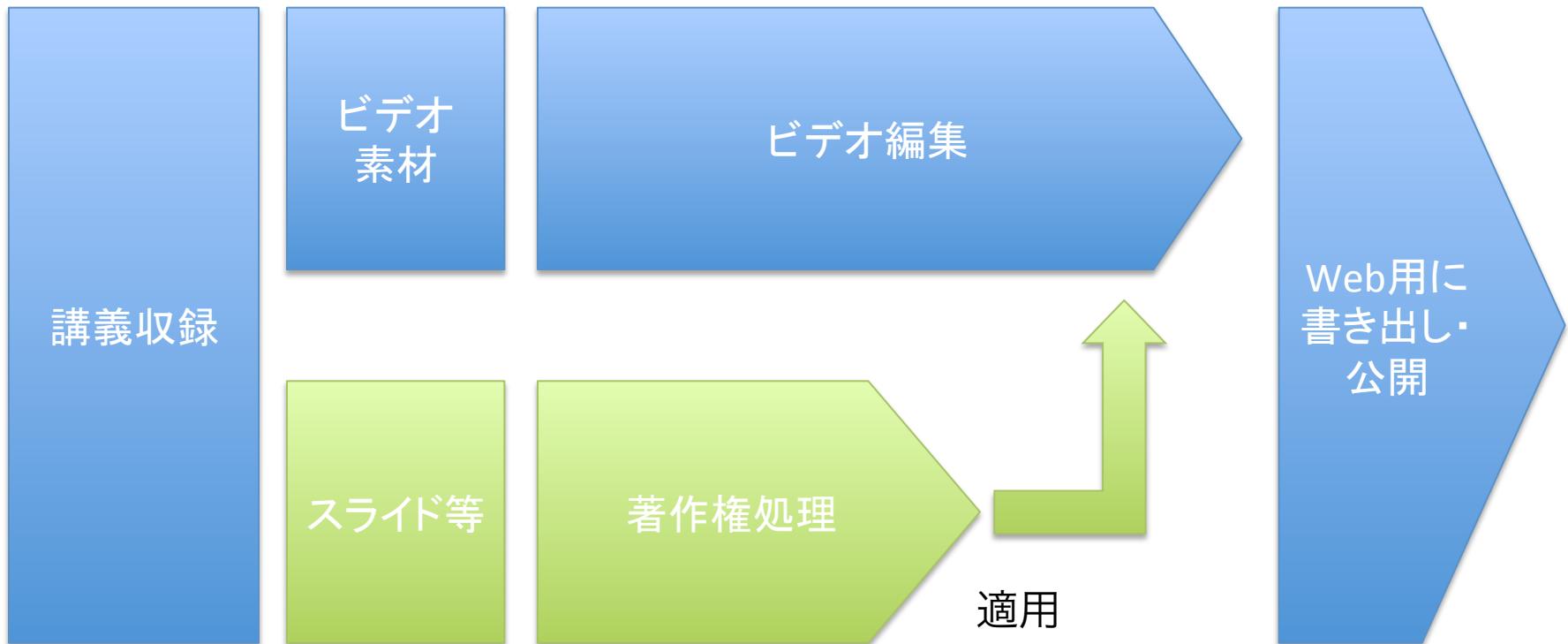
開発・運営体制

- 著作権処理部門
 - 講師・各部局を代理
 - 著作者に問い合わせて処理
 - 学生スタッフ(8名)
- コンテンツ開発部門
 - 講義収録
 - Web公開用に編集
 - 著作権処理を反映
 - 学生スタッフ(8名)

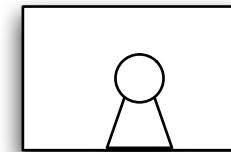
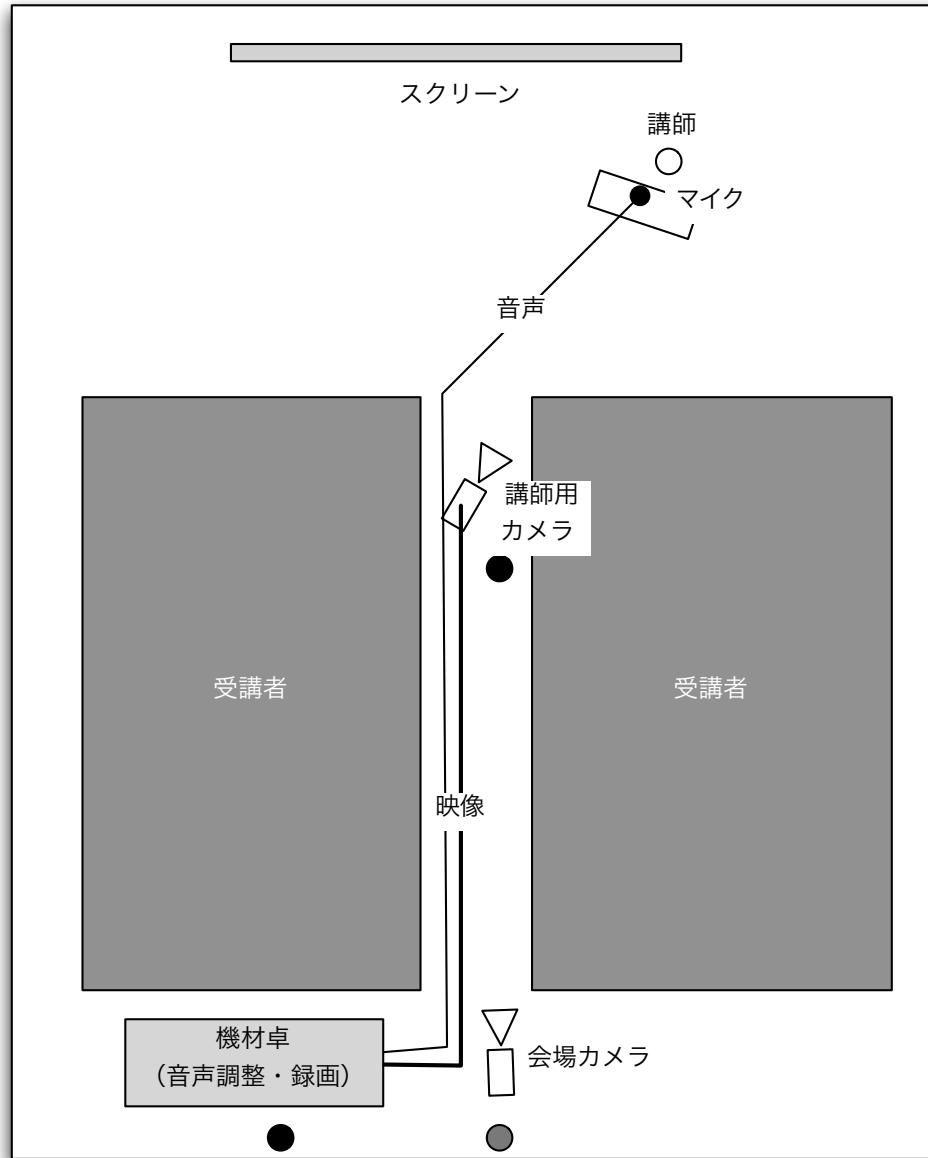


開発フロー

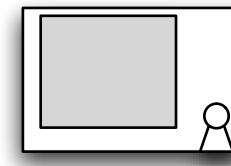
- 2部門が連携・協調



教室の機材配置

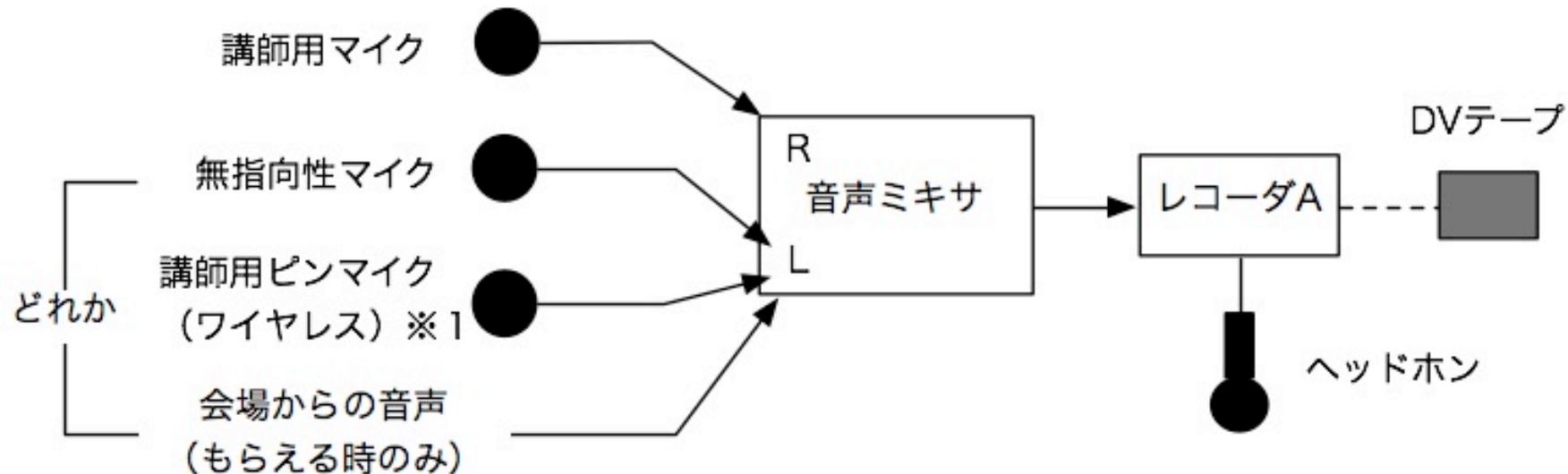
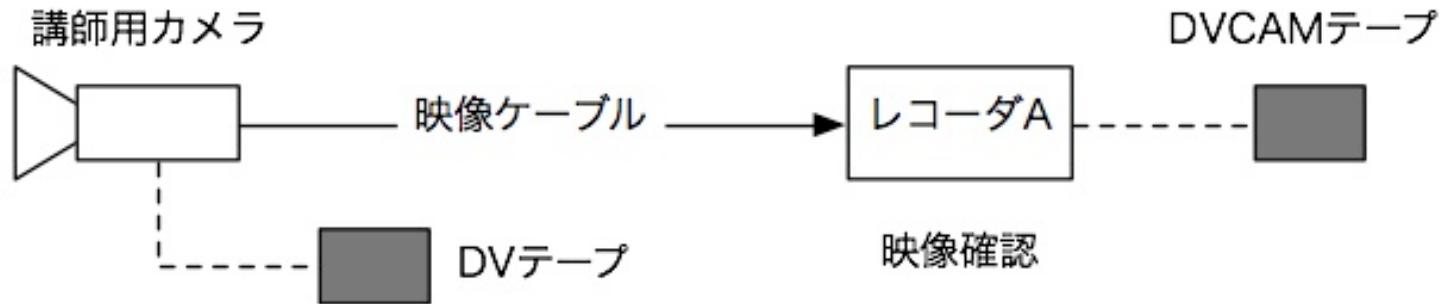


講師用力カメラの画



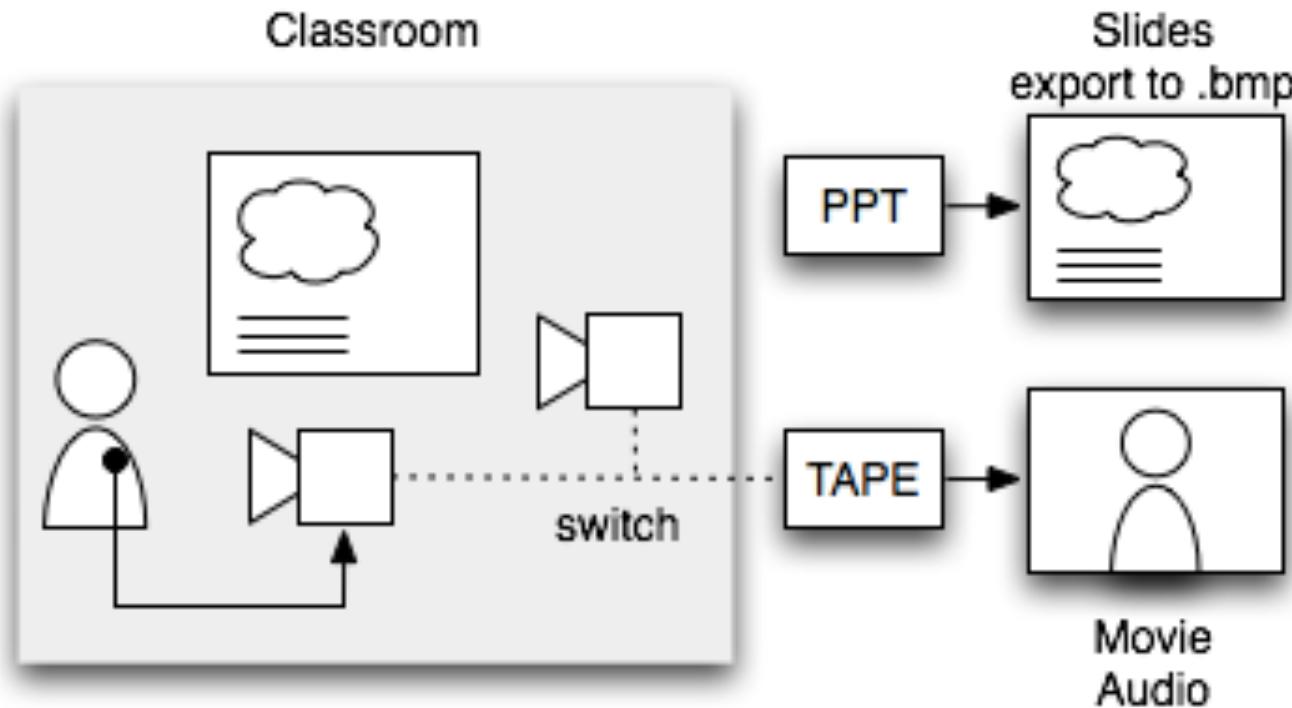
会場カメラの画

機材配線

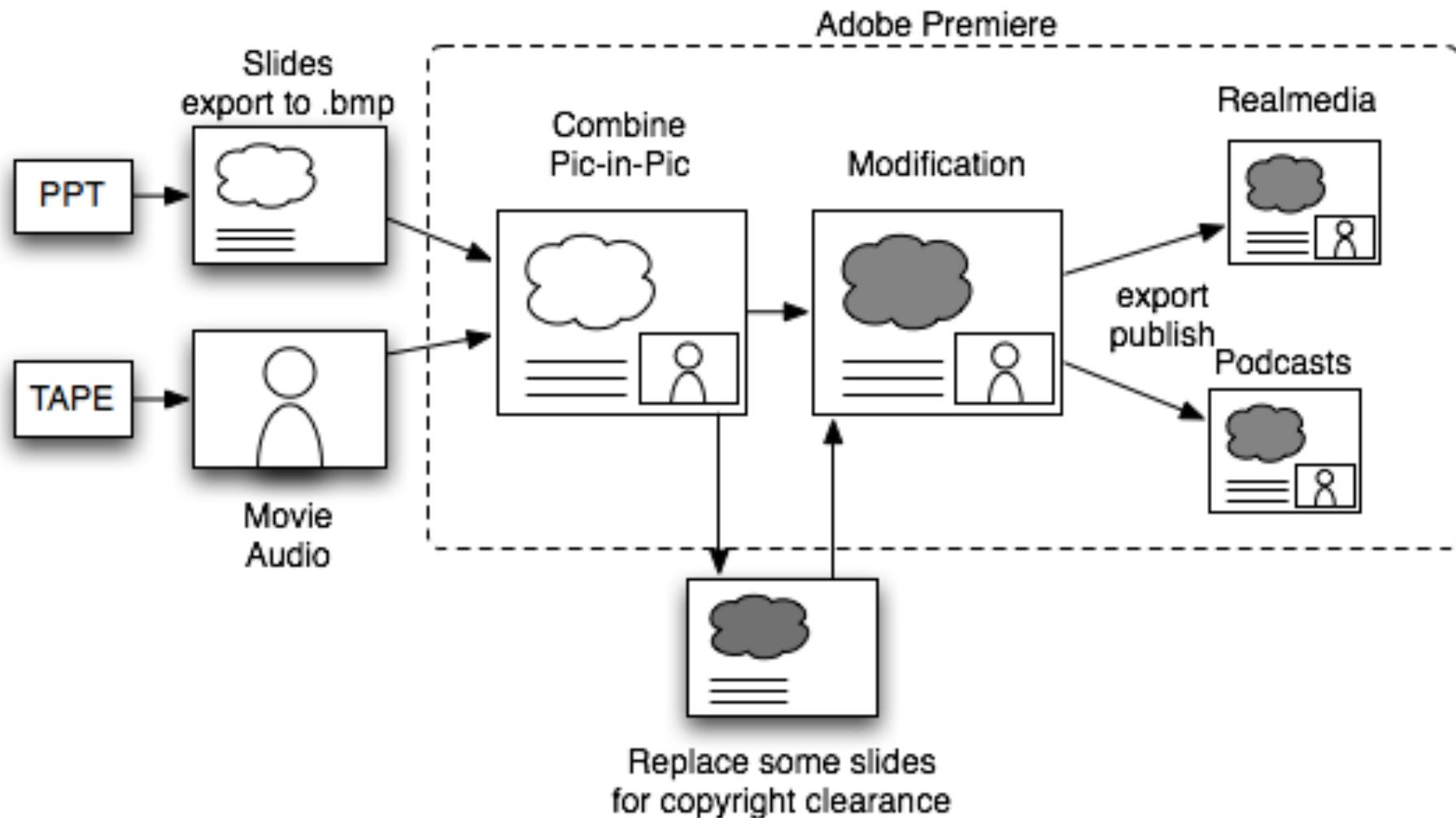


※1 会場（付近）でワイヤレスを使っていない時のみ

ビデオ制作フロー(1)



ビデオ制作フロー(2)



「教育のオープン化」は何をもたらすか？

「オープンエデュケーション」とは

- 教育機関や教育活動をする個人が、教材や教育機会へのアクセスを広く設ける（オープンにする）こと
 - インターネットなどのテクノロジを介した活動を指すことが多い
- 以下のような活動が含まれる
 - オープンな教育リソース(OER)の開発・公開
 - オープンアクセス(学術情報や学術雑誌の公開)
 - 公開講座・公開授業など、開かれた教育や学びの場を持つこと

オープンエデュケーションの「理念」

- 社会貢献活動として
 - 教育機関の持つ「知」を、教育の機会を持つていない人々にもアクセス可能に
 - 國際「教育協力」
- アクセシビリティの確保
 - 大学の「知」を、社会に多様な形で還元する
 - アカウンタビリティ
 - 社会の中の、公共財としての大学

オープンエデュケーションの「実利」

- リクルーティング
 - 入学志望者に大学の教育活動を、予期的に知らせる
 - MIT の調査: 新入生の35%が、大学を選ぶときにOCWを知り、大きな影響を持ったと回答
- グローバル対応
 - 英語での公開 海外における存在感向上
- 質向上とコスト削減
 - オープンソースソフトウェアに通じる利点
 - 米国における電子教科書プロジェクト

今後予期されること

- 「教育プラットフォーム」の台頭
 - 教育リソースを公開するサービスが、教育機関やその外から提供され、使えるようになる
 - OCW、iTunes U、YouTube EDU
- 「グローバル・プロフェッサー」の出現
 - 大学の枠を超えて活躍(マイケル・サンデル)
- 「フリーエージェント」な学び・教え
 - 教育機関に属することなく、学べる・教える
 - フリーエージェント・ラーニング

展望：「教育のオープン化」が もたらす「学びと教えのフラット化」

- 「オープン化」の理念と実利
 - 知の公開に貢献しながら、メリットを享受
 - 社会からの後押し(寄付や財団による補助)
- グローバル化する「学びと教え」
 - 国境や教育機関の垣根がない学習環境
 - 誰でも「学び」「教え」られるプラットフォーム
- 大学の価値を高める「オープン化」とは?
 - 大学の存在理由の再考・再発見
 - 多様な答えへ

アカデミック・リンクの可能性

- 「学びのハブ」としての図書館
 - 「学びと教え」に携わる人々の集まる「場」
 - オフラインで人々のつながりが可視化される
- つながりを「媒介」するオープンな教材
 - 図書館限定公開教材: 著作権処理の簡素化
 - 利用履歴・学習履歴によるレコメンデーション
- 課題
 - オープンな教材の制作・蓄積・構造化
 - 人的支援(Teaching Assistant/Facultyの活用)

講義のオープン化は、大学に 何をもたらすか？

重田勝介

東京大学教育企画室・大学総合教育研究センター

Twitter: shigejam

URL: <http://shige.jamsquare.org/>